

## 平成21年度 産業技術連携推進会議 近畿地域部会 デザイン分科会 議事録

日 時：平成22年2月25日（木） 13:30～16:30

場 所：滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場

共 催：独立行政法人産業技術総合研究所

出席者：16名

	機関名	所属	氏名
1	近畿経済産業局	産業部流通・サービス産業課 コンテンツ産業支援室	濱崎 浩
2	独立行政法人 産業技術総合研究所	関西産学官連携センター ものづくり基盤技術支援室長	斉藤 俊行
3	福井県工業技術センター	デザイン工芸研究グループ	大久保 裕生
4	京都府中小企業技術センター	企画連携課 情報・デザイン担当 主任	福岡 崇
5	京都市産業技術研究所 工業技術センター	基盤技術グループ 材料技術グループ	竹浪 祐介
6	京都市産業技術研究所 繊維技術センター	伝統染織技術グループ 生産技術グループ	欠席
7	兵庫県立工業技術センター	ものづくり開発部	欠席
8	大阪府産業デザインセンター	主任研究員	川本 誓文
9	奈良県工業技術センター	機械・電子・情報技術チーム 主任研究員	澤島 秀成
10		所長	中村 吉紀
11	滋賀県工業技術総合センター	機械電子担当	木村 昌彦
12			野上 雅彦
13	信楽窯業技術試験場	陶磁器デザイン担当	伊藤 公一
14			川澄 一司
15			高畑 宏亮
16			山越 美香

### 1. 分科会長あいさつ

滋賀県工業技術総合センター 所長 中村吉紀



## 2. 議事

### ①各機関の事業、活動報告の状況

#### ■近畿経済産業局

- ・関西デザインポテンシャルマップ（7府県・49件）9千部発行  
世界に通ずるデザイン製品を喜多氏を中心に審査しまとめた
- ・関西デザイン撰 107件掲載 関西デザインシンポジウムで配布予定  
掲載社の約9割が売上に貢献しているとの報告  
今回は自治体からの推薦で募集を行ったが、次回は一般公募を行う予定

#### ■産業技術総合研究所

- ・技術だけではやっていけない時代。技術を土台にしたデザインが必要。

#### ■福井県工業技術センター

- ・研究テーマの紹介
- ・来年度春に全国のデザイン分科会を開催、メガネ産業の見学等を予定

#### ■京都府中小企業技術センター

- ・情報関係の仕事が増え、デザイン関係の仕事は減っている。（70件→20件）
- ・KYOTO DESIGN WORK SHOW（企業とデザインのマッチング）
- ・ハイビジョン映像編集の研修、新工芸研究会

#### ■京都市産業技術研究所工業技術センター

- ・酒蔵との商品開発を行っており、マーケティングとデザインを担当
- ・全国公設試のデザインの料金体系表の報告。

#### ■大阪府産業デザインセンター

- ・BMB（ビジネスマッチングブログ）の運用について。  
21年度2月末現在で336社が登録。近畿圏内で幅広く利用されている。
- ・こどもOSランゲージ  
子供の行為を体系化することで商品開発等に活用していく。

#### ■奈良県工業技術センター

- ・機械・電子・情報技術チームがデザインを担当。どこのチームに相談していいかわからない内容はこのチームにくる。
- ・人間工学に基づいたデザイン、CAD研修、製造ラインの改善指導、新製品企画の相談、製品クレーム対策について

#### ■滋賀県工業技術総合センター

- ・デザイン開発事例（タイマー、採血マクラ）
- ・「感性価値創造支援事業」H20より地場産地にプロデューサーを入れ支援
- ・ラピッドプロトタイピング装置の更新

#### ■信楽窯業技術試験場

- ・研究テーマの紹介
- ・信楽陶製照明器具開発研究会の取り組みと展示会（東京）開催について

### ②意見交換

- ・公設試のデザイン受託状況とその料金制度等について
- ・公設試デザイン担当者の専門性について
- ・デザイン分科会 21年度活動報告 22年度活動方針について

- 報告および活動方針の案が事務局から提案され、承認を得た
- ・デザイン分科会 Web サイトの紹介と Wiki を活用した情報交換について

### 3. 見学会

信楽産地企業のギャラリー、工場等の見学

#### ①「文五郎窯」(甲賀市信楽町長野 1087)



- ・陶製浴槽の制作実演
  - ・ギャラリー「文五郎倉庫」見学
- #### ②「大小屋」(甲賀市信楽町勅旨 2349)
- ・ショップ見学

以上

## 平成 2 1 年度産業技術連携推進会議近畿地域部会デザイン分科会活動報告

2 1 年度活動方針	
<p>活動方針：デザイン関連情報照会・提供等に関する随時の相互協力はもとより、下記の 3 点を活動方針とする。</p> <p>① デザイン活用・振興の高度化に資するため、近畿地域一帯の広域連携方策について調査する。</p> <p>② デザイン活用・振興の高度化に資するため、WEB の活用や製品化事例等について調査する。</p> <p>③ 中小企業支援、研究事業の高度化等に資するため、メーリングリスト等による情報交換を積極的に推進する。</p>	
2 1 年度活動報告	
<p>1. 開催（活動）名称 産業技術連携推進会議近畿地域部会デザイン分科会</p> <p>2. 開催（活動）日時 平成 2 1 年 2 月 2 5 日（木） 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0</p> <p>3. 開催（活動）場所 滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場 (〒529-1851 甲賀市信楽町長野 4 9 8)</p> <p>4. 参加者数 1 6 名</p> <p>5. 開催（活動）概要 ①各機関の事業、活動報告の状況 ②意見交換（各機関の連携方法について） ③信楽産地企業のギャラリー、工場等の見学</p> <p>6. 活動の具体的な成果及び成果見込み(特に地域企業と地域イノベーションにかかわる成果及び成果の見込みを具体的に記載の事 ・分科会の中で地域イノベーションに向けた取り組みを中心に、各県から活動を報告 ・メールや Web を活用した情報交換を積極的に行なっている</p> <p>7. 平成 2 2 年度以降の分科会存続の可否について（除く、ナノテクノロジー分科会） ・継続を希望します。</p> <p>8. 課題等 なし</p>	

平成22年度産業技術連携推進会議近畿地域部会デザイン分科会分科会  
活動方針（案）

22年度活動方針			
活動方針：デザイン関連情報照会・提供等に関する随時の相互協力はもとより、下記の3点を活動方針とする。			
① デザイン活用・振興の高度化に資するため、近畿地域一帯の広域連携方策について調査する。			
② デザイン活用・振興の高度化に資するため、WEBの活用や製品化事例等について調査する。			
③ 中小企業支援、研究事業の高度化等に資するため、メーリングリスト等による情報交換を積極的に推進する。			
22年度活動予定			
1. 開催（活動）名称 産業技術連携推進会議近畿地域部会デザイン分科会			
2. 開催（活動）時期 平成23年2月（予定）			
3. 開催（活動）場所 奈良県工業技術センター			
4. 開催（活動）内容 ①各機関の事業、活動報告の状況 ②意見交換（各機関の連携方法について） ③その他			
5. 活動の成果見込み（特に地域企業と地域イノベーションにかかわる成果及び成果の見込みを具体的に記載の事） 産業技術連携推進会議近畿地域部会デザイン分科会において各機関発表。			
6. 特記すべき事項（PRしたいこと、これまでの活動との相違点等） 活動方針に沿って、メールやWeb等による情報交換を積極的に推進する。			
	氏名	部署・役職	連絡先
分科会長	井ノ本 直三	奈良県工業技術センター所長	TEL：0742-33-0817 FAX：0742-34-6705 E-mail：kogyo-tc@office.pref.nara.lg.jp
分科会担当者	澤島 秀成	機械・電子・情報技術チーム	TEL：0742-33-0817 FAX：0742-34-6705 E-mail： sawashima-hidenari@office.pref.nara.lg.jp